

3年生では、共通テストの受験票が届き、いよいよ本番まで1か月となりました。新型コロナの第8波が現在進行しており、山口県内でも感染者数が増加しています。共通テスト受験予定者が感染した場合にどうしたらよいのか、濃厚接触者になった場合はどうするのか、対処法を確認しておきましょう。

1、2年生の皆さんは、健康に留意しながらも、対応の仕方を知っておきましょう。現在、感染症法は、重症化リスクや感染力に応じて感染症を「1類」から「5類」に分けています。新型コロナは2類相当、季節性インフルエンザは「5類」です。流行株となっているオミクロン株は重症化率は低いとされ、医療機関等の負担の軽減が一層求められています。そのため、インフルエンザと同等の「5類」に引き下げるよう求める意見が出ています。「5類」に分類されると検査や治療の費用は公費で負担されなくなりますが、様々な要請や制限が無くなり、経済活動の促進から「5類」への変更が期待されています。しかし、後遺症の有無や高額の治療費などを考えるとどちらが適当なのか判断に悩みますね。皆さんはどのように考えますか。

○「令和5年度大学入学共通テスト受験票・写真票・成績請求票」について

受験票が届きました。これは、共通テストだけでなく、大学出願から入学後（大学によっては成績開示の際に）まで必要になる大切なものです。あわせて配付した『受験上の注意』（これも受験当日会場に持参すること）にも目を通しておいてください。今年もP3～6に「新型コロナウイルス感染症対策」について多くの注意事項があげられています。大学入試センターのHPにも12月6日付けで『受験上の注意』が周知のため載せてあります。保護者の方にも見ておいてもらってください。

1 受験票・写真票の取り扱い

- ①受験票に表示された受験科目名、登録科目数と自分の登録内容に誤りがないかどうかを必ず確認すること。万一誤りがある場合は、受験票を再発行する必要があるため、すぐに『受験案内』裏表紙の「大学入試センター事業第1課（03-3465-8600）」に電話で問い合わせをしてください。
- ②受験票と写真票には同一の写真（裏に氏名を黒のボールペンで書く）をしっかりと貼り付けること。縦4cm×横3cm、試験前3か月以内、上半身無帽のもの。眼鏡をかけて受験する者は必ず眼鏡をかけて撮影します。カラーでも白黒でも可。鮮明であればスピード写真をはじめ自宅で撮影しプリントしたものでよいです。
- ③「自署欄」に自分で氏名を記入します。（黒のボールペン）
 - ・受験票と写真票は切り離さず、共通テスト当日に必ず持参してください（成績請求票のみ切り離して大切に保管する）。
 - ・写真票は最初に受験する時間に試験室で監督者が回収します。
 - ・受験票は各大学の個別学力試験（2次試験）だけでなく、大学の入学手続きや成績開示の際にも必要になります（詳しくは各大学の募集要項等で確認）。共通テスト後も絶対に紛失することのないよう大切に保管してください。

2 成績請求票の取り扱い

- ①国公立大学用6枚（推薦・総合・前期・後期・中期・2次募集用各1枚）
- ②私立大学・公私立短期大学用18枚
 - ・出願の際に切り離し、願書に貼り付けて出願します。
 - ・国公立大学は前期・中期・後期すべて1/23（月）～2/3（金）に出願します。
 - ・国公立大学の推薦入試は、共通テストを課すかどうかにかかわらず1つの大学・学部にしき出願できません。
 - ・国公立総合型選抜用、私立大学・公私立短期大学用成績請求票は追加発行できます。『受験案内』P36参照のこと。

3 その他、出願後の各種手続き

- ①氏名、現住所、電話番号の変更
- ②受験票・写真票・成績請求票等の再発行
『受験案内』P36～38を参照のこと。

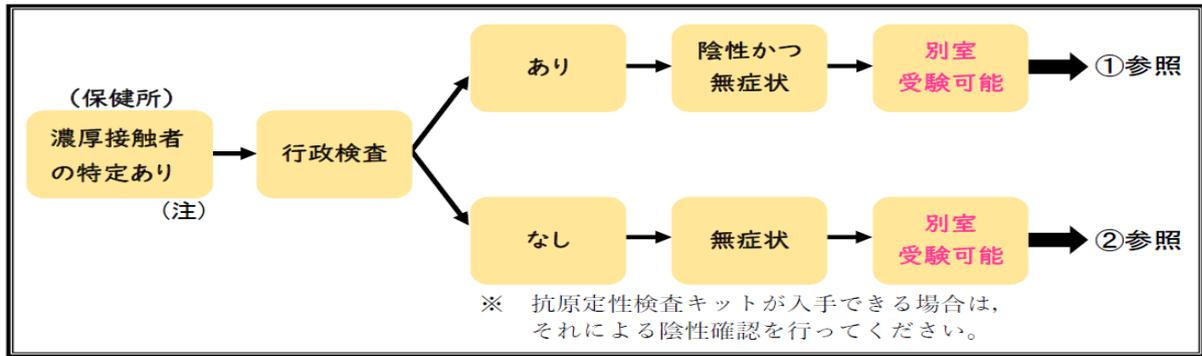


○「令和5年度大学入試共通テスト」受験準備について

- 受験会場は下関市立大学（当日どのようにして行くか考えておこう）
- 受験票・写真票（いつも使うバッグに入れる。しまいすぎて場所がわからないことが無いように）
- 受験会場に、受験票と一緒に『受験上の注意』を持参する。その中のP23にある「健康観察記録」に1月9日（月）から体温を記入しておく。

4 「新型コロナウイルス感染症対策」の注意事項（3年生は「受験上の注意」を参照。）

保健所から新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請された場合の対応について



[\(令和5年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン \(令和4年6月3日付け大学入学者選抜協議会決定\) 2\(2\)④に基づき作成\)](#)

以下のア～エの要件を全て満たしている場合に受験が認められています。受験を希望する場合は、令和5年1月13日（金）の午前中までに、受験票に記載されている「問合わせ大学」に電話連絡してください。なお、要件を一つでも満たさない場合は受験できませんので、追試験の受験を申請してください。追試験の申請方法については、「受験上の注意」の16ページを参照してください。

- ア 行政検査（初期スクリーニング）の結果、陰性であること
- イ 受験当日も無症状であること
- ウ 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと
- エ 終日、別室で受験すること

5 追試験の実施

(1) 実施期日等

共通テストについて、疾病、負傷等やむを得ない事情により受験できない者対象として1月28日（土）、1月29日（日）に追試験を実施します。

(注1) 追試験についての追試験はありません。

(2) 試験場

追試験の試験場は、全都道府県に設定します（山口県の場合は、山口大学です）。詳細については、大学入試センターのホームページから確認してください。

○その他

豊高生の会場は、全員、下関市立大学です。試験場コードは232701の6桁。会場では、595名が受験します。行き方としては、サンデンバス北浦方面行き「山の田」下車、徒歩4分又はJR「幡生駅」から徒歩20分です。開門は8：15です。



○1年生対象進路講演会実施（12月8日）

北予備小倉駅校から西 幸男氏を講師にお迎えして、体育館にて1年生全員に進路講演会を実施しました。目標をもつことの大切さを中心に、「エビングハウスの忘却曲線」や「不合格体験記」等の資料を使って、講演会をされました。1年生は9月末時点では、将来について大学や学部学科、専門学校か就職かどうかなど未定の人が40人前後と例年より多くいます。目標や志望を決めていかないと前進しにくいものです。定期考査、模試成績を反省し、冬休みを有意義に過ごす計画をたてていきましょう。

終わりに

3年生の総合型・学校推薦型選抜試験の可否結果がほぼ出そろってきた。現在、下関市立大学7名、山口東京理科大学3名、尾道市立大学1名ほか私立大指定校などの合格を得ています。今後の推薦は、国公立大学の共通テストを課すものが主で、1月共通テスト後に試験、2月中旬の可否発表です。今年もコロナ禍の影響もあり、全国的に、早く決めたい、自宅から通える所という思いから推薦入試の倍率が高まっています。特に文系の受験生の現役志向が強く、各大学ともに受験者が増加しています。また、継続して医療系は人気で、本校でも看護師希望が多い傾向です。どこの大学、専門学校でも学力を求めてきています。小論文では、日頃から新聞を読み、時事問題に関心をもっているかが可否を分けているように思えます。世の中の動向に関心をもちたいものです。例えば、サッカーワールドカップはなぜカタールで行われたのか。開催したい思惑は？コスタリカやクロアチアはどこ？どんな産業があるの？など。日頃サッカーに関心が無くても少しは時事問題に関心をもつようにしないと対応しづらいですね。（文責 木嶋）

